

厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業
平成 30 年度 分担研究報告書

沖縄県におけるがん対策の進捗評価と国との連携方法の検討に関する研究

研究分担者 増田昌人 琉球大学医学部附属病院がんセンター長

研究要旨

第2次沖縄県がん対策推進計画の中間評価の際の「患者家族調査」の経験をもとに、がん対策推進基本計画（第3期）の中間評価を行うに当たって、患者の視点からのがん対策評価を行うために『患者体験調査』の質問を作成した。

質問を作成するに当たり、全国がん患者会連合会の役員の協力を得て、患者関係者、分担研究者、分担協力者で作成委員会を組織した。がん対策推進基本計画（第3期）を、ロジックモデルを基に再編し、それぞれの分野ごとの最終アウトカムを明らかにした。作成委員会が主となり、前述の「患者家族調査」の質問項目を参考に、ロジックモデルを意識しながら、最終アウトカムが評価できる質問を、各分野1～3個作成した。

A. 研究目的

第2次沖縄県がん対策推進計画の中間評価の際の「患者家族調査」の質問票および調査結果を参考に、がん対策推進基本計画（第3期）の中間評価を行うに当たって、患者の視点からのがん対策評価を行うために『患者体験調査』の質問を作成する。

B. 研究方法

1. 第2次沖縄県がん対策推進計画の中間評価の際の「患者家族調査」の質問票および調査結果を再確認する。
2. がん対策推進基本計画（第3期）を、ロジックモデルを基に再編し、それぞれの分野ごとの最終アウトカムを明確にする。
3. 全国がん患者団体連合会の役員の協力を得て、研究協力者および分担者で作成委員会を組織する。
4. 作成委員会が主となり、前述の「患者家族調査」の質問項目を参考に、ロジックモデルを意識しながら、最終アウトカムが評価できる質問を作成する。
(倫理面への配慮)

研究の特性上、特になし

C. 研究結果

全国がん患者会連合会の役員の協力を得て、患者関係者、分担研究者、分担協力者で作成委員会を組織した。がん対策推進基本計画（第3期）を、ロジックモデルを基に再編し、それぞれの分野ごとの最終アウトカムを明らかにした。作成委員会が主となり、前述の「患者家族調査」の質問項目を参考に、ロジックモデルを意識しながら、最終アウトカムが評価できる質問を、各分野1～3個作成した。

E. 結論

第2次沖縄県がん対策推進計画の中間評価の際の「患者家族調査」の経験を活かして、がん対策推進基本計画（第3期）の中間評価のために『患者体験調査』の質問を作成した。

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表

1) 井岡 亜希子(琉球大学 医学部), 増田 昌人, 青木 一雄, 医療施策の評価を目的とした保健医療情報のレコード・リンケージに関する研究, 第 77 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 315, 2018

2) 仲嶺 八紀, 村上 隆啓, 向井 麻奈美, 比嘉 裕子, 田里雅樹, 新里 明美, 伊佐 奈々, 増田 昌人, 井上 泉, 当院における胃癌・大腸癌診療の質評価と改善活動の検討, 診療情報管理, 30 巻 2 号, 185, 2018

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし